



令和4年台風第14号に係る鳥取県情報連絡会議

【日 時】令和4年9月16日(金) 午後1時～

【場 所】災害対策本部室 (県庁第2庁舎3階)

【参加者】知事、副知事、統轄監、関係部局

鳥取地方気象台、中国電力(株)、NTT西日本(株)

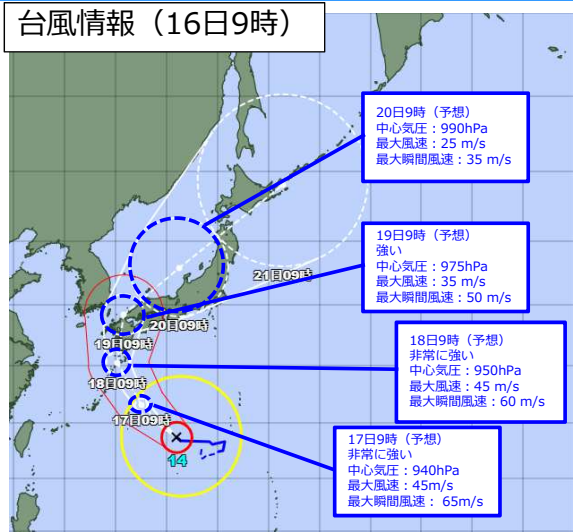
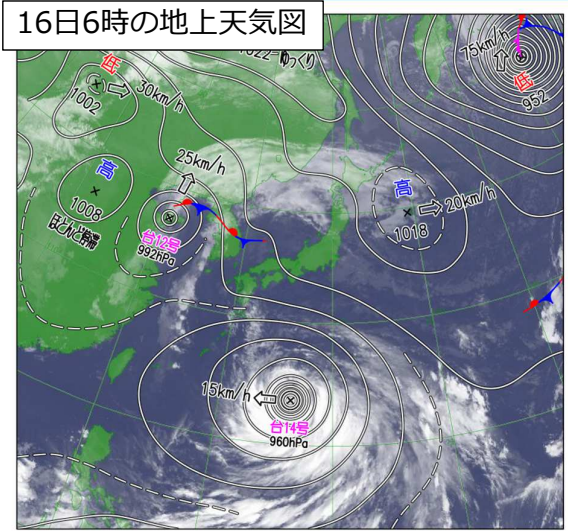
* 各総合事務所、市町村、消防局等には映像配信

【次 第】

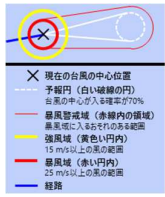
- 1 最新の気象状況、今後の予測等 (鳥取地方気象台資料)
- 2 市町村・県民への注意喚起等
 - (1) 市町村への依頼事項
 - (2) 県民への注意喚起等
- 3 警戒・即応体制の確保等
 - (1) 県の体制
 - (2) 各部局の対応
 - (3) 関係機関の対応

概況


 気象庁 鳥取地方気象台
 Tottori Local Meteorological Office, JMA



・大型で非常に強い台風第14号は、日本の南海上を西へ進んでいます。台風は発達しながら日本の南を西よりに進み、18日には九州に接近した後、20日頃にかけて進路を次第に東よりに変えるため、19日には中国地方へかなり接近、あるいは上陸するおそれがあります。



9月16日11時 現在

	16日					17日								18日					
	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時		
風の警報級の可能性																中	中		
波の警報級の可能性																中	中		
大雨(浸水)(ミリ)	東部	0	0	0	0	0	0	0	0	15	20	15	10						
	中・西部	0	0	0	0	0	0	0	0	15	20	15	10						
風(メートル)	東部	陸上	4 ↓	5 ↓	5 ⇄	4 ⇄	3 ⇄	3 ⇄	3 ⇄	5 ⇄	6 ⇄	6 ⇄	4 ⇄	4 ⇄					
		海上	6 ⇄	7 ⇄	9 ⇄	9 ⇄	8 ⇄	7 ⇄	7 ⇄	8 ⇄	9 ⇄	10 ⇄	10 ⇄	10 ⇄	10 ⇄				
	中・西部	陸上	4 ↓	6 ↓	6 ↓	4 ↑	4 ↑	3 ↑	3 ↑	3 ↑	5 ⇄	6 ⇄	6 ⇄	4 ⇄	4 ⇄				
		海上	6 ⇄	7 ⇄	9 ⇄	9 ⇄	8 ⇄	7 ⇄	7 ⇄	8 ⇄	9 ⇄	10 ⇄	10 ⇄	10 ⇄	10 ⇄				
波浪(メートル)	鳥取県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.5	1.5						
雷	鳥取県										注	注	注	注					
高潮(メートル)	東部	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	0.4								
	中・西部	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.5	0.5								

18日には、
強風域に入る可能性
があります。

24時間降水量(多い所)
16日12時~17日12時
東部 10ミリ未満
中・西部 10ミリ未満

24時間降水量(多い所)
17日12時~18日12時
東部 50~100ミリ
中・西部 50~100ミリ

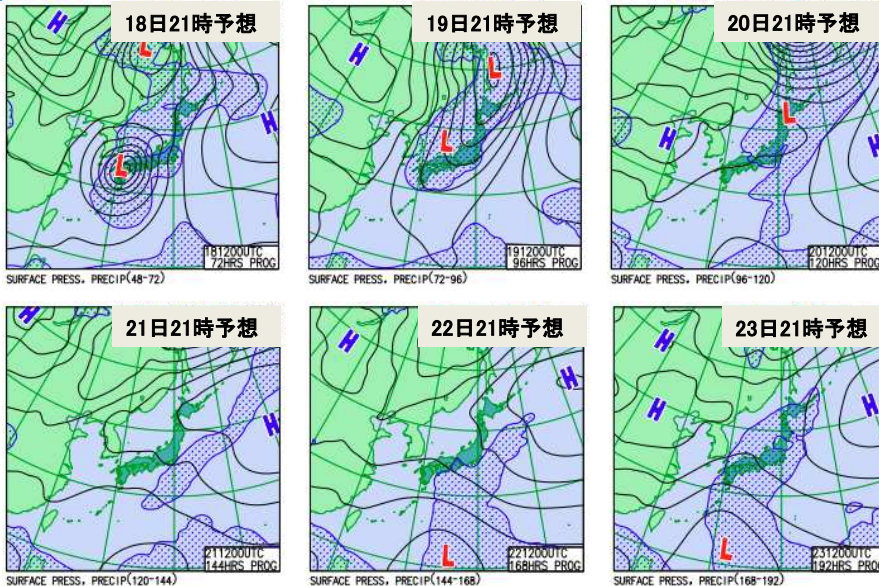
鳥取県の早期注意情報

鳥取県の早期注意情報(警報級の可能性)
2022年09月16日11時
東部では、17日までの期間内に【高】及び【中】はない。今後の情報に留意。
中・西部では、17日までの期間内に【高】及び【中】はない。今後の情報に留意。

警報級の可能性	16日					17日					18日	19日	20日	21日	
	12-18	18-24	00-06	06-12	12-24	12-18	18-24	00-06	06-12	12-24					
大雨	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[中]	-	-	-
	1時間最大	15以下	15以下	15以下	15以下	20									
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	25以下	30									
	24時間最大	50以下													
暴風(雷)	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[高]	[中]	-	-
	最大風速	陸上	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下	10				
		海上	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下	10				
波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]	-	-
	波高	1	1	1	1	1.5									
高潮	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- ・17日は、湿った空気の影響で曇り、午後は雨や雷雨となる所がある見込み。
- ・18日は、台風第14号の北上に伴って湿った空気が流れ込むため、午後を中心に雨が降る見込み。
- ・19日は、台風第14号の影響で、大荒れの天気となる見込み。

週間予報



向こう一週間は、台風第14号や湿った空気の影響で曇りや雨の降る日が多いでしょう。
18日から20日頃は、台風の影響で大荒れとなり、台風の進路等によっては大雨や大しけ、高潮となるおそれがあります。

鳥取県の天気予報(7日先まで)

2022年09月16日11時 鳥取地方気象台 発表

日付	今日 16日(金)	明日 17日(土)	明後日 18日(日)	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)	23日(金)	
鳥取県	晴	曇	曇後雨	雨で暴風を伴う	曇一時雨	曇時々晴	曇時々晴	曇	
降水確率(%)	-/-/0/0	0/20/20/30	80	A	C	B	B	C	
信頼度	-	-	-	A	C	B	B	C	
鳥取 気温 (℃)	最高	34	33	33 (31~35)	28 (27~32)	25 (24~28)	27 (24~30)	29 (26~32)	30 (27~33)
	最低	-	22	26 (24~27)	20 (19~26)	18 (17~19)	17 (15~19)	19 (17~21)	22 (20~24)
鳥取	向こう一週間(明日から7日先まで)の平年値								
	降水量の7日間合計 平年並 18 - 62mm	最低気温 18.1℃			最高気温 26.9℃				4

まとめ

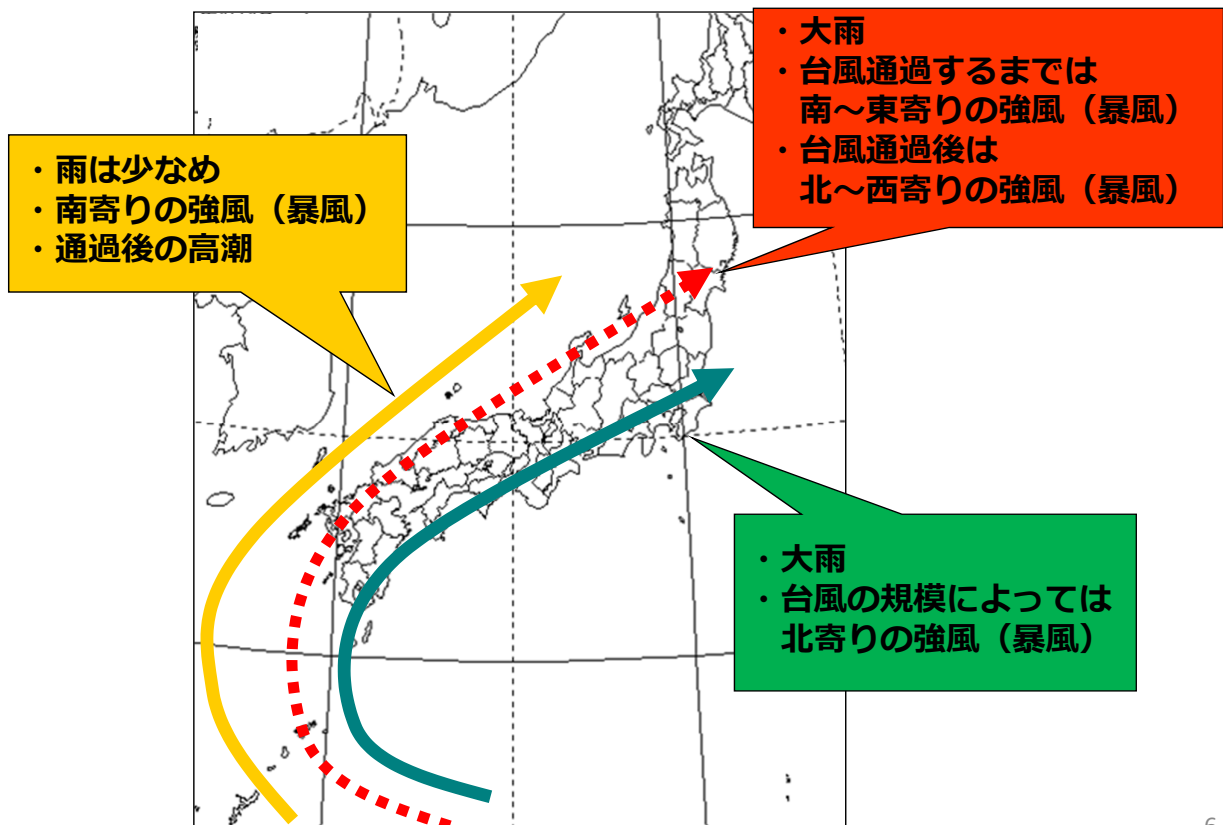
- 大型で非常に強い台風第14号は、日本の南海上を西へ進んでいます。台風は発達しながら日本の南を西よりに進み、18日には九州に接近した後、20日頃にかけて進路を次第に東よりに変えるため、19日には中国地方へかなり接近、あるいは上陸するおそれがあります。
- 台風は大型で、台風を中心から比較的離れた地域でも、雨・風・波が強く、台風の影響が長引く可能性があります。
- 鳥取県は、19日は暴風域に入る可能性が高く、また、台風本体の発達した雨雲が流れ込むおそれがあります。このため、暴風警報や大雨警報、波浪警報を発表する可能性があります。
大雨や暴風に対する、早めの対策をお願いします。

<防災事項>

- 暴風、土砂災害、浸水害、河川の増水、高波、高潮、落雷、突風、農作物の管理。

5

【参考】台風の進路別による鳥取県での注意・警戒事項



6

2 市町村・県民への注意喚起等 (1) 市町村への依頼事項(その1)

■ 市町村における対応の徹底

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、以下の点などを改めて住民に周知してください。

- 早め早めに安全な場所に避難すること（自主避難含む）
- 「警戒レベル4」で、危険な場所から避難すること
- 防災・気象情報をこまめにチェックすること など

1 避難情報の発信と周知

- 早期の発出
- 様々な手段を用いて、確実に住民へ伝達
- 夜間の状況を予測して、早め早めに発出を判断
※状況が急変した場合には、夜間でも避難情報の発出は必要

- ◆ 避難情報等発令の際、在宅療養者に対し、自宅の災害危険性が高い場合は、避難先調整のため、避難についてコンタクトセンター・保健所に連絡するよう、併せて周知をお願いします。

7

2 市町村・県民への注意喚起等 (1) 市町村への依頼事項(その2)

<浸水リスクが高い地域の対策>

過去に浸水被害があった地域など、対策の再確認をお願いします。

- 詰まりやすい用水路の点検や清掃
- 水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- 必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

<避難情報の判断にあたっての情報収集>

必要に応じて県関係課へ助言を求めてください。

<初動体制の速やかな確立>

気象情報の収集伝達、職員参集体制の確認等

<迅速な避難体制の確立・避難行動要支援者等の支援対策の強化>

- 避難指示等の発令基準や消防団等への連絡手段の確認、ハザードマップの活用等
- 要配慮者利用施設等への情報伝達体制、避難誘導上の配慮等の確認等

<被害規模の早期把握と迅速な報告>

<停電・通信障害等ライフライン被害への備え・停電時対策>

- 電気等ライフライン被害を抑えるため、樹木の事前伐採等の対策をお願いします。
- 避難所等での停電時にEV・PHVの派遣等により、緊急給電対応可能ですのでご連絡ください。

8

(参考)災害時停電対策

中国電力、NTTとの協定締結（令和元年度）

災害時の停電復旧、通信確保のための連携に関する協定を締結

- ・ 平時の取組：連絡窓口、重要施設等の情報交換、倒木等の事前伐採
- ・ 災害時の取組：災害対策本部への情報連絡員の派遣、ドローン・ヘリコプター等を活用した災害情報の共有、停電復旧のための障害物除去等の協力

EV(電気自動車)・PHV(プラグインハイブリット自動車)等による充電態勢整備

■ 外部給電器の備蓄(R元年度)

- ・ 電気自動車等に接続して大容量の電気を供給できる外部給電器10台を整備
- ・ 災害時に県等が所有するEV・PHVと一体運用して緊急で避難所等へ給電

■ とっとりEV協力隊の創設(R元年度～)

- ・ 県民・県内企業が所有する外部給電器の接続が可能な電気自動車等をあらかじめ登録、災害時等にボランティアで参集して電気を供給（現在50台登録）



■ 三菱自動車工業(株)と災害時協定締結(R4年度)

災害時の給電体制強化のため、三菱自動車工業(株)及び県内系列販売会社と協定を締結

- ・ 災害時の電動車両等の貸与（県内外の販売店から）
- ・ 県のイベント・防災訓練等への協力、災害時のEV活用の啓発・PR等



PHVによる電力供給のデモンストレーション

■ その他

- ・ ガソリン発電機30台（H13年度）、ポータブル電源10台（R4年度）等を整備済

9

2 市町村・県民への注意喚起等 (1) 市町村への依頼事項(その3)

○避難所における新型コロナウイルス等感染症への対応について

<可能な限り多くの避難所を開設>

通常時の自然災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図り、避難者の密度が高まらないよう配慮。また、利用可能なホテルや旅館等の活用等も検討。

<避難者の健康状態の確認>

避難者が避難所へ到着した時に体調不良者を早期発見できるよう、検温など可能な限りの健康チェックを行い、健康状態を把握。

<頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底>

避難者及び避難所運営スタッフの、基本的な衛生対策の徹底。

<避難所内での十分な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保>

必要に応じて、段ボール間仕切りや段ボールベッドを活用。

※ホテル・旅館等の民間施設借上げ、避難所の設置、維持及び管理に要する費用については、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用が可能。

<在宅避難者の把握に努めること>

BA.5は換気がポイント！換気を効果的に行いましょう

県内においても、換気不足や換気障害による感染拡大事例が報告されています

効果的な
換気
の
考
え
方

- ✓ **空気の入口(吸気口)と出口(排気口)を意識！** 空気の流れを作ることが重要です。
- ✓ 家庭用エアコンの多くは換気機能はありません。**エアコン使用時も窓開け換気が重要**です。
- ✓ **空気の流れを阻害しないパーテーションの配置が大切**です。

換気のポイント

- ① エアゾール発生が多い**人が多いエリアから排気、反対側から外気を吸気**
- ② 空気の流れを阻害するビニールカーテンなど**背の高いパーテーションは、空気の流れに対して平行に設置**
- ③ **背の低いパーテーションで3方向を塞がない** (横の人の距離を1M以上確保)
- ④ **換気扇(機械換気)による常時換気**
- ⑤ 機械換気が無い場合、**30分に1回、数分程度、窓開け換気(窓やドアを全開)**
 - ・**2方向を窓開け**をすると効果的
 - ・熱中症予防のため、換気の際は、室温や湿度にも配慮
- ⑥ 更衣室など**換気ができない場所では、同時に利用する人数の制限**
- ⑦ **CO2センサー等を活用**し必要な換気ができているか確認。**(概ね1,000ppm以下を維持)**

換気を阻害しないパーテーションの配置

・パーテーションの配置や形状により、換気が有効に働かない場合があります。空気の流れを導く



※新型コロナウイルス感染症対策分科会(第17回)資料より一部引用



<県民のみなさまへ>

○今回の台風は、雨、風ともに大きな影響が考えられます。明日のうちに準備をお願いします。

【屋外の準備】

- ・ 強風による飛散、破損等への備え
- ・ 雨どいや側溝、排水溝の掃除 など

【屋内の準備】

- ・ ハザードマップや避難場所の確認
- ・ 停電への備え
- ・ 食料、飲料水、衛生用品等の準備 など

(参考) 鳥取県ホームページ「風水害に関する注意情報」

<https://www.pref.tottori.lg.jp/rain/>

○強風域の範囲が広いので、台風が離れていても要注意。

○交通機関への影響に注意してください。

- ・ JR西日本は、9/18(日)夕方以降、計画運休を行う可能性があることを発表

○高潮に注意してください。

(2) 県民への注意喚起等(その1)

1 最新の気象情報や防災情報に注意して土砂災害や増水などに警戒してください

- 最新の気象情報は、気象庁のホームページ等で確認を。

- ・警報、注意報等
- ・キキクル（危険度分布）など
- ・台風情報



- 市町村は防災行政無線等、県はホームページ、トリピーメール、防災アプリ等で防災情報や公共交通機関の運行情報等を発信。

- ・避難情報・避難所開設状況
- ・交通情報
- ・道路情報
- ・ライフライン情報 など



ホームページ「とりネット」

注意情報などのまとめページを設置
(トップページの「防災・救急」又は特設リンクから)

「あんしんトリピーメール」

スマホや携帯電話等に気象情報や防災情報等をメールで配信



トリピーメール・なびの登録方法は上記QRコードから

「あんしんトリピーなび」

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリ
(プッシュ通知や最寄りの避難所情報など)

- NHKのデータ放送（生活・防災情報）やヤフー防災速報でも各種防災情報が確認可能。
- 通信の障害等に備えて、複数の情報入手手段をご用意ください。

13

(2) 県民への注意喚起等(その2)

1 家の周囲の災害リスクや避難場所の確認など早めの備えを始めてください。

(1) ハザードマップで家の周囲の災害リスクやいざという時の避難場所を確認

- ・ハザードマップを探し、自宅が何色の場所にあるかを確認し、避難場所までの避難ルートをチェックしてください。

(2) 強風による飛散、転倒、飛来物による破損への備え

- **あらかじめ強風への備えをしておきましょう。**
 - ・家の周囲にある倒れやすいものなどは、固定するか家の中に入れておく。
 - ・窓ガラスに飛散防止用のフィルムを貼っておく。
 - ・電柱が倒れて停電・断水になることがあるため、備蓄をしておく。
- **強風が吹いている間は注意を怠らないように。**
 - ・飛散物や転倒による負傷を避けるため、外出はできるだけ控える。
 - ・窓やシャッターを閉め、窓ガラスの飛散防止のためカーテンも閉める。

2 気象庁「キキクル(危険度分布)」で近くの川が「紫」なら避難してください。

- ・中小河川の近くでは素早い判断を。(水位が一気に上昇します)
- ・大きな河川では晴れてからも注意が必要です。(雨が止んでからも水位が上がります)

3 土砂災害の前兆現象(裏山等からの濁水、湧水、異音、異臭等)にご注意ください。

4 避難する時は、長靴をはかずに歩きやすい服装で、2人以上で行動してください。

- ・冠水している場所や車での避難は危険です。

14

(2) 県民への注意喚起等(その3)

5 外に出るのが危険な時は屋内で少しでも安全を確保してください。

- ・ 2階への避難、斜面から離れた部屋への避難など。
- ・ 屋内での安全確保は最後の手段で絶対的な安全はありません。早めの避難を。

6 避難における新型コロナウイルス等感染症への対応について

○ 避難所で感染症にかからない・うつさないため、次のことに注意してください。

<避難する前に・・・>

- ① 体調を確認しましょう。避難する途中で体調がすぐれなくなった場合には、避難所の受付で相談しましょう。
- ② 安全が確保できる場合は、自宅での待機や、近隣の親せきや知人宅への避難(分散避難)も選択肢の一つです。お住いの地域が危険かどうかハザードマップもしっかり確認して、自分の避難先を決めましょう。
- ③ 可能なかぎり、マスク・体温計・消毒液を持参しましょう。

<避難した後は・・・>

- ① 避難所で生活するときは、マスクの着用、手洗い、咳エチケットなどをしっかり行ってください。
- ② ほかの避難者と十分な距離をとるようにしましょう。(概ね2m)
- ③ 十分な換気を行うよう心がけましょう。
- ④ 発熱や咳などの症状がある場合には、すぐに避難所の担当者に報告してください。

7 (新型コロナウイルス感染症に感染し在宅療養されている方及びそのご家族等へ)

- ・ 東部圏域の方は鳥取市コールセンターへ、中部・西部圏域の方は県のコンタクトセンター(65歳以上の方や妊婦さん等保健所に登録されている方は保健所)へご連絡ください。(避難先を調整します。)
- ・ すでに災害が発生しているなど、危険が迫っている場合は、命を守ることを最優先に避難等の行動をとってください。

15

3 警戒・即応体制の確保 (1) 県の体制

○ 暴風域が本県を通過するおそれがあるため、早めに災害警戒・応急対応を行う体制に移行します。

⇒ 各部局、各市町村におかれては、連休に入る前に
連絡・即応態勢の確保・再確認をお願いします

◆ 現時点では、本県への影響について警戒・監視を行いつつ、各部局において適時、県民等への注意喚起等を行う。

暴風域の本県通過が予想される場合の体制引き上げのめやす

- ・ **注意体制** 本県が強風域に入った場合、公共交通機関の予定運休情報を入手した場合
- ・ **警戒体制(1)** 大雨注意報、暴風警報等の発表
- ・ **警戒体制(2)** 大雨警報等の発表〔鳥取県災害警戒本部を設置〕
- ・ **非常体制** 甚大な被害が発生した場合、発生のおそれがある場合 等〔鳥取県災害対策本部を設置〕

16

3 警戒・即応体制の確保

(2) 県の対応

公共交通機関の対応

(1) 公共交通機関の状況

<航空便>

【国内線】（ANA HP: 日本時間2022年9月16日12時00分現在）

■ 米子空港 通常どおり運航予定

■ 鳥取空港 通常どおり運航予定

<鉄道、バス、隠岐汽船>

現時点で運休を決定したものはない。

(2) 県民等への情報提供

今後の影響を注視し、情報収集する。また、欠航や運休等の情報を入手した場合、速やかにとりネット等で県民や観光客に情報提供する。

17

3 警戒・即応体制の確保

公共土木施設の対応

1 令和3年被災箇所への対応

- すでに大型土嚢の設置等の必要な応急対策を実施済。
- 大雨や強風に十分備え、道路・河川・砂防関係の被災箇所等を中心に事前にパトロールを行うとともに、注意報・警報等の発表により適宜、パトロールを行う。

2 河川・ダム・砂防

(1) 県内河川等の確実な排水機場の稼働及び適切な樋門操作

- 排水機場が確実に稼働するよう、事前点検を実施済。
清水川排水機場は令和3年度末までに排水能力を4.0m³/s→4.6(m³/s)に増強済。
- 樋門等の適切な操作及び住民避難等に関する情報の発信・伝達、点検、体制強化を図っている。
- 河川パトロールによる水位情報の把握や排水ポンプ車の支援体制を確認済。
※排水ポンプ車配備台数: 東部地区(国3台、県2台)、中部(国4台)、西部(国1台、県1台)
- 高潮には注視のうえ、市町村と連携して、河川及び湖沼の適切な樋門操作を徹底する。

(2) ダムの管理

- 治水ダムについては、洪水に備え、治水容量を確保済。
- なお、治水協定に基づき、県内すべての治水ダム・利水ダム双方とも、必要に応じて事前放流等を実施する。
- ダム放流の実施にあたっては、下流住民へ情報伝達を適時・的確に行う体制をとることを再確認済。
- 気象状況・ダム水位等を注視しつつ、できる限り早期に関係市町村及び下流住民に放流予告を連絡周知する。

18

公共土木施設の対応

(3) 大呂地区地すべりの監視体制

- ・監視体制を強化するとともに、土砂崩落による河川の閉塞等に備え、北股川に排水管を設置済、及び県道の迂回路を整備中。
- ・斜面上部からの崩落による、中腹部分の堆積土砂の流出防止対策として、災害関連緊急地すべり防止事業により土留工整備済。

(4) 盛土の点検を実施

- ・大規模盛土造成地等の盛土(41箇所)について、6月末までに再点検を完了、異常箇所はなかった。
※令和3年度に全国を対象として実施した盛土総点検の実施箇所

3 道路

(1) 高速道路等の事前通行規制(県土整備部、国土交通省)

- ・鳥取道及び山陰道については、一定の区間ごとに設定されている基準雨量を超過した場合に事前通行止めすることとしており、国土交通省と連携し、道路情報板や案内看板で迂回路(国道53号、国道9号等)へ誘導する。

(2) 倒木等への対応

- ・昨年の台風9号の際に各地で倒木による道路規制が発生したことを踏まえ、倒木が発生した際に速やかに撤去等の対応ができるよう、体制を確保する。

19

公共土木施設の対応

4 その他

(1) 大雨・強風時のパトロール体制等

- ・現在稼働している工事現場については、現場内の土砂流出や資材の固定状況などの現場点検を実施し、安全対策を徹底する。
- ・線状降水帯による局地豪雨予報(6/1から気象庁運用)を踏まえて、県内全域での大雨等の発生や推移に応じたパトロールや水防活動を行う。

(2) (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応

- ・災害発生時等には、「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいて対応していただくよう、(一社)鳥取県建設業協会に事前に要請済。

20

農林水産関係への対応

農業者、関係団体などへ台風期における各種対策、注意喚起を実施

1 農業関係

○「台風期における農業技術対策(秋期)」を踏まえて、台風対策を徹底するよう各市町村、農協、農林局等を通じて生産者へ周知。(9/15)

- [連絡内容] ①農作物の管理について、②パイプハウスの強風対策について
③警報発令中のほ場、水路見回りに関する注意喚起

[主な農作物の技術対策(状況)]

白ねぎ	夏ねぎは約8割出荷終了。強風・排水対策や降雨前後の防除を指導。
ブロッコリー	強風・排水対策や降雨前後の防除を指導。(秋冬作苗を定植中(約6割終了))
梨	二十世紀梨は9/16で選果終了。新甘泉は出荷終了。 晩生梨に対する落果防止対策、排水対策や降雨後の防除を指導。
ブドウ	ピオーネ、巨峰は終了。シャインマスカットは8/27から販売開始、約4割出荷終了。 強風対策、降雨後の排水対策、ハウスの換気を指導。

2 農地・ため池関係

○台風期における防災態勢の強化について、各市町村、農林局へ依頼。(9/16)

○ため池については、営農利用に伴い低水位の状況。
※昨年の7月豪雨で被災したため池は、災害復旧工事を実施中。
※防災重点ため池の緊急連絡体制は各市町において整備済。

3 林業関係

○各森林組合等の林業事業体に対して、土砂災害等の注意喚起など各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼。(9/16)

4 水産関係

○各漁業協同組合等の水産関係団体向けに関係者の安全確保等の防災措置について依頼。(9/16)²¹



電気事業及び工業用水道事業の管理体制

1 風力発電の管理

- ・ 毎秒25m以上の強風になったときは、風車を保護するため羽根の角度を調節して風車の回転を停止する。

2 ダムの管理

[茗荷谷ダム] (若桜町) ※ダム運用は、PFI事業者が実施中

- ・ PFI事業者は、9月18日(日)正午からダム当直体制を開始。
- ・ 千代川水系の治水協定に基づき、1日の降雨量が236mmを超えると予測されるときは事前放流を実施する。
- ・ ゲートから放流するときは、事前にサイレンを吹鳴し、警報車でダム下流の河川巡視を行う。
ダム水位 7.5m (16日 9時) [放流ゲート下端 6.5m、常時満水位 10m]
貯水率 68% [基準降雨量 236mm/24時間]

[中津ダム] (三朝町)

- ・ 発電所のリニューアル工事につき、ゲートを全開にして自由放流中
ダム水位 11.6m (16日 9時) [放流ゲート下端 11.5m、常時満水位 16m]
貯水率 53%

3 台風通過後の点検

- ・ 発電事業(風力・太陽光・水力)及び工業用水道事業(鳥取地区・日野川)の各施設について、台風通過後に臨時点検を実施する。(日常的に24時間365日監視を実施している。)

関係機関の対応

中国電力(株)・中国電力ネットワーク(株)の対応

○対応体制の整備

- ・グループ会社を含めた連絡体制の確認、事態に即応した対応体制移行 など

○停電の早期復旧に向けた取組み及び迅速な情報発信

- ・速やかな被害状況の確認・原因の特定、情報収集にあたっての鳥取県等との連携 など
- ・停電情報アプリ、ホームページ等を活用した情報発信 など

○県民の皆さんへのお願い

- ・切れた電線や垂れ下がった電線には絶対に近づいたり、触れたりしないでください
- ・電柱・電線等が壊れているのを発見した場合、中国電力ネットワークへ連絡してください

NTT西日本(株)の対応

○県関係機関との連携強化及び迅速な情報発信

- ・県土整備局様とのビジネスチャットを使用した倒木等被害の連絡体制構築済み
- ・ホームページ等を活用した通信サービスに関する迅速な情報発信

○災害対策機器の点検、準備

- ・小型ポータブル衛星（地球局）、インバータ発電機、携帯型発電機、ドローン、移動電源車、可搬形整流装置の点検、準備済み
- ・浸水の想定される通信設備設置局舎への浸水防止板設置（8局舎）済み

○社内関係部への指示

- ・台風に備えた保守体制、リエゾン派遣の準備を指示済み
- ・台風通過後の設備パトロール体制の準備を指示済み